

世田谷・大平農園  
けやきが見守る  
四〇〇年の暮らし

大平美和子

聞き書き 菅聖子



旬報社

# 1章

## 大平家の年中行事 …… II

プロローグ——けやきのある家…… 3

### 【年末年始】

- 一年分のたくあん漬け…… 13  
お歳暮には野菜を…… 18  
戦後の市場事情…… 20  
もちつきと注連縄作り…… 24  
お雑煮とおせち料理…… 29

- 三が日…… 31  
羽根つきと羽子板…… 33  
六日年越しと小正月…… 35  
水や薪の話…… 37

【寒の入り〜大寒】

小寒は寒参り…… 40

寒もちをつく…… 41

もちは水に浸けて夏まで食べる…… 45

【六月 梅仕事】

梅の実を収穫して…… 60

【七月 お盆】

お中元とお盆の準備…… 62

一三日、迎え火…… 65

一四日、お墓参りとおはぎ…… 66

一五日、送り火…… 69

【二月 節分】

ひいらぎとイワシの頭…… 49

【三月 桃の節句】

祖母、母、娘

それぞれのひな人形…… 52

【九月 お祭】

お祭さわぎ…… 73

お彼岸のおはぎ…… 77

【四月 畳上げ】

春は掃除のシーズン…… 55

【一二月 収穫】

野菜の宝船を奉納…… 79

【五月 端午の節句】

柏もちの思い出…… 56

## 2章

### 戦前戦中の大平家…… 83

#### ——私の子ども時代

女系が五代続きました…… 85

ちよんまげのお侍さんを見た曾祖母…… 90

世田谷の農家…… 93

子どもころの記憶…… 97

にぎやかな毎日…… 101

半分畑だった目黒通り…… 104

けやきの根元に掘った防空壕…… 107

木が好きです…… 111

## 3章

### 戦後の食糧増産時代…… 117

#### ——篤農家だった父

農業研究のためにつくった「足食会」…… 119

農業は廃物利用だ…… 125

カリフラワーは畑の数の子…… 129

ビニールハウスを考案する…… 133

原因不明の体調不良…… 137

複雑な生い立ち…… 142

父の死をきっかけに…… 146

## 4章

### 無農薬有機栽培への転換 …… 151

#### — 家族の悲喜こもこも

福島から来た無口な実習生 …… 153

明治生まれの祖母と気が合う夫 …… 157

家で挙げた結婚式と母のこと …… 162

無農薬栽培への切り替え …… 166

人糞や馬糞が大事な肥料 …… 171

玄米菜食で体調改善 …… 175

世界有機農業研究会 …… 178

突然訪ねて来たアメリカ人青年 …… 181

娘がいなくなってから …… 184

## 5章

### 若葉会の過去・現在・未来 …… 189

テレビ番組の大きな反響 …… 191

各地の無農薬栽培農家と連携 …… 194

学校給食も無農薬野菜で …… 198

会員も年を重ねて …… 202

自家採種でつなぐ野菜 …… 206

コロナ禍で見直される地域野菜 …… 209

エピローグ——けやきは思い出のすべてに …… 212